

住宅改修が必要な理由書【記入例】

< 基本情報 >

利用者	被保険者番号	0000123456	年齢	82歳	生年月日	昭和10年 5月 10日	性別	男	作成	現地確認日	30年 3月 23日	作成日	30年 4月 1日	
	被保険者氏名	世田谷 花子	要介護認定(該当に)	1 (2)	要支援	1・2・3・4・5	要介護	女		所属事業所名	居宅介護支援事業所			
	住所	世田谷区 世田谷4-30-5								指定事業所番号				
										連絡先(住所、)	世田谷区太子堂9-9-9 03- - 介護 従子			

より効果的な住宅改修を行うために、利用者の状態像を把握するPTまたはOTから住宅改修の必要性について具体的な助言を得た場合は、有にチェックを、得ていない場合には無にチェックをしてください。助言を得た場合は、助言者の該当する資格にチェックをし、所属事業所及び氏名をお書きください。

保険者	確認日	年 月 日	評価欄	リハ職の助言	同居家族状況	家屋形態	居住形態
	氏名			無 有 理学療法士 (PT) 作業療法士 (OT) [保健センター・x 氏]	単身 夫婦のみ その他 [長男夫婦]	戸建 (持家) " (借家) 集合 (持家) " (借家)	1. 戸建の場合 主に 1階で生活 2. 被保険者の居室 (専用) ・ 共用 3. 居室の広さ 約6畳

< 総合的状況 >

利用者の身体状況	<p>両膝変形性膝関節症で、痛みが強く、歩行が不安定。屋内は壁をつたいながらゆっくり1人で歩行しているが、段差の昇降や扉の開閉ではふらつきやすい。階段で1度転倒したことがある。屋外が杖歩行。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動、立上り、姿勢の保持などの生活動作に関する身体状況を記載。屋内・屋外移動方法は必ず記入してください。(つたい歩き、介助歩行、歩行器利用など)</p>	福祉用具の利用状況																									
介護状況	<p>長男夫婦と同居。長男夫婦は就労のため日中は独居。排泄、入浴はゆっくりであれば1人で可能。家事や買い物は長男夫婦の支援。週1回デイサービスを利用中。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">各種介護サービスおよび家族の状況・主な介護者を含む介護状況を記載</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生活の動線がわかり、住宅改修により、利用者・家族は日常生活をどのように変えたいと希望しているか、またその効果を記載。</p>	貸与	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">品 目</th> <th style="width: 10%;">住宅改修前</th> <th style="width: 10%;">住宅改修後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車椅子</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊寝台</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床ずれ防止用具</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>体位変換器</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>手すり</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自動排泄処理装置(交換可能部分以外)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>移動用リフト(つり具の部分を除く)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">福祉用具について確認</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【例】ベッド脇に置き型手すりをレンタルしているためチェックを入れる。</p>	品 目	住宅改修前	住宅改修後	車椅子			特殊寝台			床ずれ防止用具			体位変換器			手すり			自動排泄処理装置(交換可能部分以外)			移動用リフト(つり具の部分を除く)		
品 目	住宅改修前	住宅改修後																									
車椅子																											
特殊寝台																											
床ずれ防止用具																											
体位変換器																											
手すり																											
自動排泄処理装置(交換可能部分以外)																											
移動用リフト(つり具の部分を除く)																											
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	<p>本人の希望もありQOLを維持・向上させるため2階にある寝室へ階段昇降している。階段に既存手すりがあるが一部のため、手すりを設置し安全に昇降できるようにする。デイサービスや来客対応の際、より安全に外出できるよう、玄関に手すりとし式台を設置する。トイレ扉は開閉のしやすさから吊元交換を行う。トイレには既存手すりがあるが、浴室には手すりがないため手すりを設置する。福祉用具で浴槽に入るためのフチ手すりを購入予定。</p>	購入	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【例】自費で購入した杖を利用してはいる場合は、この欄に「杖」と記入。</p> <p>間接移動用リフトのつり具の部分 その他(自費で利用している福祉用具等)</p>																								
複数の事業者から見積もりを取るよう、利用者に対して説明したか(チェック)	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">該当するものにチェックする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 説明し、2社以上の見積もりを取った <input type="checkbox"/> 説明したが、本人・家族等の希望で1社しか取らなかった <input type="checkbox"/> 国通知の変更により、説明することが義務化したことを知らなかった</p>																										

住宅改修が必要な理由書【記入例】

< 基本情報 >

< ページ1の「総合的状況」を踏まえて、以下の から までの項目を具体的に記入してください。 >

活動	改善をしようとしている生活動作	の具体的な困難な状況 (…なので…で困っている)	改修目的・期待効果をチェックした上で、 改修の方針(…する事で…が期待できる)を記入	改修項目(改修箇所・部位) 個別具体的に記入してください
排泄	トイレまでの移動 トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) 便器からの立ち座り(移乗を含む) 衣服の着脱 排泄時の姿勢保持 後始末 その他()	日中過ごす食堂からトイレへ移動する際、現状の扉では一度身体を回転させなくてはならないため、ふらつくことが多く転倒の恐れがある。	できなかったことをできるようにする。 転倒等の防止、安全の確保 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他()	手すりの取付け ①玄関L型手すり1本 ③階段横手すり1本 ⑤浴室オフセット縦手すり1本 図面・見積書と番号を揃えます。 段差の解消
入浴	浴室までの移動 衣服の着脱 浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) 浴室内での移動(立ち座りを含む) 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) 浴槽の出入(立ち座りを含む) 浴槽内での姿勢保持 その他()	出入りに段差(12cm)があり、出入りの際に転倒の危険がある。	できなかったことをできるようにする。 転倒等の防止、安全の確保 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他()	②玄関 式台の設置 滑り防止等のための床材の変更
<p>【ユニットバスへ変更する場合】 福祉用具で住環境を改善できないか検討したか 設備改修との併用の有り</p>				
外出	玄関までの屋内移動 上がりかまちの昇降 履物の着脱 玄関の出入(扉の開閉を含む) 玄関から敷地外までの屋外移動 車いす等、装具の着脱 その他()	上がり框の段差(24cm)の昇降時や靴の着脱時にバランスを崩しやすい。	できなかったことをできるようにする。 転倒等の防止、安全の確保 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他()	引き戸等への扉の取替え ④トイレ 吊元交換 便器の取替え その他
その他の活動	1階から2階への階段	現在手すりはあるが、途中で終わっているため、降りる際に何度か転倒している。	できなかったことをできるようにする。 転倒等の防止、安全の確保 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他()	手すりを追加で取付けて安全に階段を降りられるようにする。③

扉の吊元を変更することで、食堂からトイレまで移動しやすく、容易に安定して扉を開閉することができる④
図面・見積書と番号を揃えます。

図面・見積書と番号を揃えます。

浴室をユニットバスへ変更する場合、福祉用具で改善できないか検討し、チェックを入れてください。設備改修と併用する場合はチェックしてください。

今回の改修にあたり、改善を必要とする動作についてチェックしてください。

洋式便器から洋式便器に交換する場合には、一般的に想定していないため、必ず本人の身体状況を把握したり八職(PT又はOT)の助言を得た上で申請してください。